

第5回「あと数マイル・プロジェクト」推進検討会議 会議録

日 時：令和7年11月11日 10：00～11：45

場 所：埼玉会館4階 4B会議室

出席者：【委員】

久保田尚、金山洋一、伊藤香織、生田美樹（順不同、敬称略）

【事務局】

埼玉県企画財政部交通政策課

日本交通技術株式会社

傍聴者：なし

記 者：1名

【司会】

それでは、ただ今から「第5回「あと数マイル・プロジェクト」推進検討会議」を開催いたします。進行を務めます、交通政策課の渋谷と申します。どうぞよろしくお願いいたします。

なお、本日の会議は、傍聴希望の方はいらっしゃいません。

それでは、これよりお手元にお配りいたしました次第に沿って進めさせていただきます。

はじめに、開会にあたりまして、埼玉県企画財政部 地域経営局長の今西から御挨拶を申し上げます。

【地域経営局長】

埼玉県企画財政部地域経営局長の今西でございます。

開会にあたりまして一言御挨拶申し上げます。

本日は御多忙にもかかわらず、本会議の方に出席をいただきましたこと、厚く御礼を申し上げます。

あと数マイル・プロジェクトの早期実現を図るため昨年度設置したこの会議も本日で第5回目となります。

前回の第4回会議におきましては、路線ごとの課題を整理するため、御審議をいただきました。

本日は、各路線の課題に対します取組の方向性について御審議いただきたいと存じます。

本県の交通の利便性向上のために、皆様の専門的な知見からの忌憚のない御意見や御提案、御提言を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

本日は長時間の会議ですが、どうぞよろしくお願いいたします。

【司会】

ありがとうございました。

それでは、ここからの進行につきましては、久保田委員長にお願いしたいと存じます。どうぞよろしくお願いいたします。

【委員長】

皆さんおはようございます。今日もよろしくお願いいたします。

まず会議の公開についてお諮りします。

これまで率直な意見交換を行うために、また発言によって特定の関係者の利害に影響がある場合を含むと考えられるために、この会議では意見交換は非公開の扱いとするということに決めていただきまして、事務局の説明までは公開で意見交換については非公開としてきました。

本日の会議もこれまでの会議と同じ取り扱いとしたいと思いますが、よろしいでしょうか。

(異議なし)

【委員長】

それではそのように決定いたします。事務局から補足説明はありますか。

【事務局】

はい。この後の事務局による資料説明は傍聴が可能ですが、資料説明後の意見交換は、ただ今の決定を受け、非公開となります。

取材記者の方におかれましては、その旨御承知いただきますようお願いいたします。

【委員長】

では議題に入ります。

本日の議題は、「各路線の取組の方向性について」になります。

では、資料により事務局から説明をお願いします。

【事務局】

お手元の右上に「資料」と書かれたホチキス留め資料を御用意ください。それでは資料の説明をさせていただきます。

この資料では、「あと数マイル・プロジェクト」の各路線を取り巻く現状と、前回の会議までに御議論いただいた課題、それらの課題に対する取組の方向性につきまして、とりまとめております。

この資料は、事務局がとりまとめた案ですので、本日は、この事務局案をたたき台として、課題に対する取組の方向性について、御議論いただき、不足する取組を追加していただくなど、お願いできればと考えております。

2ページを御覧ください。

まず、東京12号線についてです。

令和2年度の公共交通の利便性向上検討会議以降のこのプロジェクトを取り巻く現状と課題と取組の方向性につきまして整理しております。

なお、第4回会議で各路線の課題の整理の案についてお示ししましたが、取組の方向性とともに見直し、6つの課題として整理し、それらの課題に対する取組の方向性について示しております。

この路線の今後目指すべき方向性についてですが、令和13年頃と想定される国の次期交通政策審議会の答申に、この延伸計画が「意義あるプロジェクト」として引き続き位置付けていただけるよう、事業性の確保などの課題解決を目指します。

次に、沿線地域の現状についてです。

12号線沿線の自治体の人口は減少傾向にあり、所沢市は立地適正化計画を策定済で、新座市では策定中ということで、居住誘導区域の設定が進められております。

道路の状況については、12号線周辺では、西武池袋線や東武東上線にアクセスする南

北方向の道路が混雑している状況にあり、関越自動車道のスマートインターチェンジの設置について第5次新座市総合計画や都市計画マスタープランに位置付けられております。

また、ところざわサクラタウンの来場者数が令和6年3月に400万人を突破し、所沢駅前には新たな商業施設が開業するなど、賑わいが生まれております。

なお、既設線の混雑率については、現在も依然として高い水準であることを確認しております。

次に課題についてですが、既設線の延伸につきましては、令和2年度の検討会議において、① $B/C > 1$ の確保、②詳細な延伸ルートの精査、③混雑率上昇への対応、④仮称新座中央駅周辺のまちづくりの推進、⑤整備手法の具体化の5項目が示されておりました。なお、令和2年度にとりまとめました課題と取組の方向性など、第4回会議で配布した資料の一部につきまして、委員の方から御希望がありましたので、参考資料2としてお手元に配布させていただきましたので、必要に応じて御覧ください。

令和2年度に示された課題解決のため、県では、これまで $B/C > 1$ の確保に向けた調査やルートの精査に関する調査などを実施してきました。

しかし、まだ解決には至っていない課題も多く、「詳細な延伸ルートの精査」、「混雑率上昇への対応」、「整備手法の具体化」については、引き続き課題として記載しております。

一方、「新座中央駅周辺のまちづくりの推進」は、引き続き重要な課題ではありますが、既成市街地を含む全体のまちづくりが重要であることから、まちづくりに関する課題としては、「将来を見据え、まちづくりのビジョンと鉄道の位置付けを整理」といたしました。

なお、新座中央駅を含む新駅周辺のまちづくりについては、「事業性の確保」の取組の一つとして記載しております。

さらに、新たな課題として、「国の次期交通政策審議会への対応」を追加いたしました。

次に、取組の方向性です。

「まちづくりのビジョンと鉄道の位置付けを整理」するための取組の方向性として、「都市計画や居住誘導の方針等を考慮した延伸計画の検討」といたしました。なお、これには2次交通の利便性向上の検討を含んでおります。

次に、「事業性の確保」のための取組の方向性としては、「新駅周辺のまちづくり計画の深度化、乗換利便性の向上、その他便益向上につながる取組について検討するとともに、建設コストの精度向上を図る」といたしました。

「詳細な延伸ルートの精査」のための取組の方向性としては、「効果的、効率的な延伸ルート等の検討」と記載しております。

東京12号線につきましては、現在4つあるルート案を絞り込んだ上で、速達性向上に資する線路線形や支障物の検証など、更なる精査が必要と考えられます。他に追加すべき具体的な取組などの、御助言をお願いいたします。

「混雑率上昇への対応」の取組の方向性として、2点記載しています。一つは「混雑緩和につながる取組の検討」で、具体的には、輸送力の最大化やオフピーク料金の設定などが考えられます。もう一つは、「東京から埼玉への逆方向の移動需要創出の取組の検討」です。

「整備手法の具体化」のための取組の方向性としては、「事業スキームの検討及び関係機関との調整」としました。検討のポイントなど具体的なアドバイスをお願いいたします。

最後の「国の次期交通政策審議会への対応」としましては、「関係自治体との連携・調整」としました。こちらにつきましても、具体的な調整項目などについてアドバイスをお

願いたします。

以上が東京12号線の課題の整理と取組の方向性についての説明となります。

3ページを御覧ください。こちらは東京8号線についての資料です。

目指す方向性としましては、東京12号線と同様で、次の交通政策審議会の答申に位置付けていただくため、事業性の確保などの課題解決を目指します。

沿線地域の現状についてです。

八潮市と吉川市を除き、人口は減少傾向にあり、草加市と松伏町では立地適正化計画を策定済で、居住誘導区域等の設定が進められております。

周辺道路の状況ですが、現在東埼玉道路の建設が進められており、現時点で八潮市から松伏町までの約9.5kmが開通しております。

その他、8号線沿線ではイオンレイクタウンや越谷いちごタウンなどインバウンドのニーズのある集客施設を有しております。

また、関係自治体からなる期成同盟会では、新駅周辺のまちづくりの検討が進められております。

次に課題についてです。

8号線の延伸につきましては、令和2年度の検討会議では、① $B/C > 1$ の確保に向けた取組、②沿線地域全体の発展を見据えたまちづくりの推進、③他都県と連携した事業スキーム等の検討の3項目が示されておりました。いずれも少し表現を修正して、課題として残しております。

また、追加いたしました2つの課題については、12号線と同じ項目となっております。

取組の方向性についても、12号線とほぼ同様の取組内容になっておりますので、8号線の特徴や進捗を踏まえ、取組内容の御指摘をいただきたいと考えております。

4ページを御覧ください。

日暮里・舎人ライナーについてです。

まず、この路線の今後、目指すべき方向性についてですが、既設線延伸の意義を確認するとともに、新たな交通システムの導入も検討してまいります。

沿線地域の現状についてです。

日暮里・舎人ライナーは延伸方向や延伸ルートが定まっておきませんので、技術的に実現可能な複数の延伸ルートを設定し、検討を進めております。

この地域は、人口密度が比較的高く、移動需要が高い傾向にある一方、住宅が密集していることから、導入空間の確保は容易でないと考えられます。

また、令和2年度の段階で課題となっていた既設線の混雑率については、コロナ後も依然として高い状況にあり、東京都と足立区は、今年度、バスを活用した実証実験を行う予定となっております。

次に、課題についてです。

日暮里・舎人ライナーの延伸につきましては、令和2年度の検討会議で、①延伸ルートの絞り込み、②混雑への対応、③次期答申に向けた道筋の整理の3項目が課題として示されておりましたが、今回は、既設線延伸に加え、新たな交通システムの導入を検討するため、それぞれの課題と、共通の課題を記載しております。

既設線延伸につきましては、「延伸ルートの絞り込み」と「混雑率上昇への対応」は、引き続き課題としてあげさせていただいております。新たな課題として、「延伸の意義の再確認」を追加しております。

新たな交通システムの導入につきましては、既設線延伸と同様に「導入の意義の確認」と「延伸ルートの絞り込み」が課題となりますが、それに加え、「交通モードの選択」が挙げられます。

さらに、共通の課題として、「道路部門との連携」を追加いたしました。

次に取組の方向性についてです。

「延伸の意義の再確認と延伸ルートの絞り込み」の取組の方向性としては、「B/Cや収支採算性、工期、事業効果等から総合的に延伸の意義を検討し、延伸ルートを絞り込む」といたしました。

「混雑率上昇への対応」については、東京12号線と同様に2項目を挙げさせていただいております。

新たな交通システムの「導入の意義の確認」の取組の方向性としては、「移動需要や公共交通の現状等から導入の必要性について検討」といたしました。

「交通モードの選択とルートの絞り込み」についての取組の方向性としては、「事業効果やコスト、工期、道路の現状から交通モードやルートを絞り込む」としております。

共通の課題であります「道路部門との連携」につきましても、「道路街路事業としての可能性の検討」としておりますので、具体的な検討項目などのアドバイスをお願いいたします。

5ページを御覧ください。

多摩都市モノレールについてです。

まず、この路線の今後、目指すべき方向性についてですが、日暮里・舎人ライナーと同様に既設線延伸の意義を確認するとともに、「新たな交通システム」の導入も検討してまいります。

日暮里・舎人ライナーと同様に複数のルートを設定し、検討を進めております。

こちらの地域は、西武線沿線を除き、人口密度は低い傾向にありますが、集客施設や地域資源が豊富であり、観光地としてのポテンシャルは高いものと考えております。

東京都の延伸区間につきましては、今年度、軌道法に基づく特許を受け、2030年代半ばの開業を目指し、手続きが進められております。

課題と取組の方向性については、ほぼ日暮里・舎人ライナーと同様の課題となっておりますが、この路線独自の課題といたしましては、「観光部門との連携」や「資金調達」が挙げられます。

取組の方向性については、課題と同様に日暮里・舎人ライナーと共通しておりますので、共通の部分については説明を割愛させていただきます。

路線独自の課題である「観光部門との連携」の取組の方向性としましては、「観光施策との連携」としております。また、「資金調達」の取組の方向性としては、「PFI等の活用の検討」といたしましたので、具体的な検討事項等について御助言をお願いいたします。

只今説明いたしました資料は、事務局で考えられる案をまとめたものです。

特に取組の方向性につきましては、報告書では、もう少し具体的な内容も盛り込んだものにしていきたいと考えておりますので、アドバイスをよろしくお願いいたします。

資料の説明は以上です。

【委員長】

はい。ありがとうございました。

それではただいまから意見交換を行いたいと思います。

ここから非公開とさせていただきますので、記者の方は大変恐縮ですが、退席をお願いいたします。

(意見交換) (「あと数マイル・プロジェクト」推進検討会議設置要綱第5条第2項により非公開)

【委員長】

では以上で意見交換を終わります。ここからまた公開とします。
では次に「その他」に行きます。何か事務局からありますか。

【事務局】

その他といたしまして2点、次回のスケジュールと本日の会議録の扱いについて御説明いたします。

はじめに、今後のスケジュールについてです。次回第6回会議につきましては、年明けの1月に開催させていただく予定でございます。

今回は、本日御議論いただきました各路線の課題と取組の方向性の最終案を御確認いただくとともに、報告書案について御意見をいただきたいと思っております。後日、詳細のスケジュールにつきまして御連絡いたします。

次に、本日の会議録についてです。本日の会議の主な御意見をまとめました議事の概要及び会議録につきましては、事務局の方で作成いたしまして、後日、委員の皆様へ互角にいただいたのち、公表したいと考えておりますので、よろしく御願いいたします。事務局からは以上です。

【委員長】

はい、ということで、1月またよろしく御願いいたします。それでは予定された議事は全て終わりましたので、私の進行は以上とさせていただきます。あとは事務局よろしく御願いします。

【司会】

久保田委員長、ありがとうございました。また、委員の皆様におかれましては、長時間にわたっての御議論、誠にありがとうございました。以上をもちまして、第5回あと数マイル・プロジェクト推進検討会議を終了とさせていただきます。本日、委員の皆様からいただきました意見を踏まえまして、引き続き検討を進めてまいりたいと存じますので、今後ともどうぞよろしく御願いいたします。本日は誠にありがとうございました。